

上 25 mm
(掲載号ヘッダーまで 15mm)
下 25 mm
(頁番号フッターまで 15mm)
左右余白 18 mm

ヘッダーは記入する必要ありません。

英文要旨なし・図表英文なし
依頼原稿用(災害報告・現場情報コー
ナ・観測の現場を訪ねて)

砂防学会誌投稿原稿—英文要旨なし・図表英文なしフォーマット—

Article of the Journal of Japan Society of Erosion Control Engineering: subtitle

- ・タイトル (和) は、太ゴシック、サイズ 14 (サイズはすべてポイント)。
- ・タイトル (英) は、Times か Times Roman, Times New Roman (以下、Times) サイズ 10.5。
- ・固有名詞以外小文字。
- ・副題が必要な場合、和文は副題を全角ハイフンで囲み、英語は半角コロン+半角スペースの後に副題を始めます。

例 (和) 題名 - 副題 - ; 例 (英) Title: subtitle

砂防 太郎*
Taro SABO

1. はじめに

このフォーマットは、砂防学会編集委員会から依頼を受けた執筆者が、災害報告・現場情報コーナ、観測の現場を訪ねての原稿を作成する際に用いてください。

- 5 フォーマットは、砂防学会誌に投稿する場合に著者が図表等の大きさ(文字の見やすさ)と配置、超過ページの有無などおおよその状態を知ってもらうためのものです。掲載決定後、実際の印刷に当たっては、印刷会社が提出された電子データや原図等を編集してレイアウトをし直して製版します。印刷段階でこのフォーマットと異なる(図表の位置が多少変更になるなど)こともあります。その原稿で著者校正を行います。最終ページ数はその時に決定されることを了承して下さい。

- 15 原稿の作成にあたっては、「砂防学会誌投稿要領」および「砂防学会誌執筆要領」を確認して、適切な体裁の原稿の作成をお願いします。pdf に変換した原稿を電子メールに添付して提出して下さい。

2. 原稿体裁

- 20 用紙サイズ・余白は A4 サイズ、余白上下 15 mm、左右 18mm とします。1 ページ目の表題等の構成は次の通りです。

- 25 1) 表題 (英文併記)
2) 著者名・所属 (英文併記、全著者を記載、代表者 e-mail)
3) 本文 (和文)
4) 引用文献

表題等の下に 3 行空白後、本文を始めて下さい。本文は 25 字の 2 段組とします。2 ページ目以降は 25 字×50 行×2 段組で、図(写真含む)・表は上下いずれかにまとめて本文の適切な箇所にオブジェクトを挿入して下さい。原稿のページ数は次のとおりです。

- 35 1) 災害報告: 8 ページ以内(超過ページを含めて最大 12 ページ)
2) 現場情報コーナ・観測の現場を訪ねては編集委員からの依頼内容に従ってください。

フォーマットフォーマットフォーマットフォーマット
フォーマットフォーマットフォーマットフォーマット
フォーマットフォーマットフォーマットフォーマット

著者名 (和) は、明朝、太文字、サイズ 11。
著者名 (英) は、Times、サイズ 9、姓はすべて大文字。
災害報告は共著者名が多くなる傾向があります。原稿頁の半分を占める場合は、フォントサイズを見直し、1 行に 5 名ずつ記載

大見出し(章)は太ゴシック、サイズ 10.5。
1 行空けてから大見出し(章)を記す。
本文は 25 字詰め、明朝、サイズ 9。

・和文は明朝、サイズ 7.5、英文は Times 等、サイズ 7.5
・1 ページ目のフッターには、著者所属 (和文、英文) が入ります。複数の著者で投稿される場合にはフッターの高さが変わります。非会員は表記しません。

中・小見出し（節・項）の前は改行なしで続ける。数字は Arial, タイトルはゴシック, サイズ9。

3. 本文と図表

2 ページ以降は本文と図表を適宜組み合わせ入力して下さい。

3.1 図表

5 図表は関連する文章と対照しやすいように著者が挿入したい場所にオブジェクトか、拡張メタファイル形式で貼り付ける。図表は上下いずれかにまとめて配置することとし、本文中にははさまない。図中の点や線、軸の目盛等は明瞭に分かるように大きさ等に注意して、単位系も明示して下さい。単位系は本文・図表を含め、SI 単位系を基本とします。

3.2 数式



図（写真含む）表は上下いずれかにまとめて配置することとし、本文中にははさまない。

- ・依頼原稿では英語併記は不要
- ・「図」（写真含む）はゴシック, 番号は Arial, サイズ 8.5
- ・タイトル（和）は、明朝, サイズ 8.5
- ・地図・写真等の著作物を引用する場合、利用条件に基づいて適切に「出典」等を明記する。
- ・サイズ 7-10。縮尺変更にご注意すること。

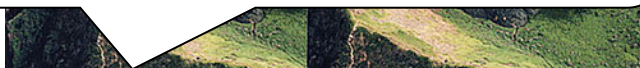


図-1 実体視できる溶岩流のイメージ

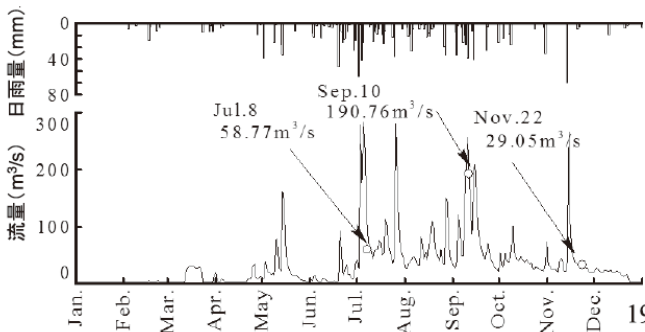


図-2 雨量と流量の関係

表-1 サンプル表

Directions	A	B	C	D				
North	10	10	20	5	6	11	4	65
South	18	11	1	5	11	1	7	54
East	5	4	1	2	2	1	1	16
West	4	4	3	2	2	7	1	23

20 数式の記入は、下のサンプルのように数式フォームを用いて下さい。1行に収まらない場合には、2行に分けて記入し、式番号は数式の直後から破線を引いて行末に示します。数式を本文中に記述する場合は、 $y = a/x$ などのように行内に収めて下さい。

$$25 \frac{\partial M}{\partial t} + \beta \frac{\partial}{\partial x}(uM) + \beta \frac{\partial}{\partial y}(vM) = -gh \frac{\partial H}{\partial x} - \frac{1}{\rho_T} \tau_{bx}$$

..... (1)

3.3 見出し、箇条書、句読点

本文中には次の見出し番号を付けて下さい。

- 30 第1順位（章） 1. 2. 3. ...
 第2順位（節） 1.1 2.2 3.3 ...
 第3順位（項） 1.1.1 1.1.2 1.1.3 ...
 箇条書き 1) 2) 3) ...

見出しの後は改行し、全角1字空けて本文を書き始めます。なお、第1順位（章）の前は1行空けて下さい。

35 句読点は、カンマ（,）と丸（.）を用いて下さい。カッコなどには全角1字分を充てて下さい。

3.4 引用文献

文献の引用は以下のフォーマットで行います。詳細は「砂防学会誌執筆要領」をご確認ください。

3.4.1 文中引用の記法

本文中で例えば（芦田ら、1978）と書きます。

3.4.2 引用文献リストの記法

末尾に次の形式で記載します。

45 芦田和男・高橋保・水山高久（1978）：山地河川の掃流砂量に関する研究，砂防学会誌（新砂防），Vol.30, No.4, p.9-17

堀田紀文・厚井高志：山地からの土砂流出の変遷の実態－流域の土砂貯留量の変化に着目して－，砂防学会誌，Vol.63, No.5, p.52-61, 2011

50 フォーマットフォーマットフォーマットフォーマット

- ・日本語の場合「(), ., : -」等は全角、巻号頁の「.-/」等は半角。
- ・英語の場合、「(): title, Vol.1, b : c」等は半角と半角スペース；例。
- ・原稿種別毎の様式・記法は砂防学会誌執筆要領を参照

フォーマットフォーマットフォーマットフォーマット

55 トフォーマットフォーマットフォーマットフォーマット

フォーマットフォーマットフォーマットフォーマット

フォーマットフ

ーマットフ

- ・依頼原稿では英語併記は不要
- ・「表」（写真含む）はゴシック, 番号は Arial, サイズ 8.5
- ・タイトル（和）は、明朝, サイズ 8.5
- ・表タイトルは表の上に配置
- ・サイズ 7-10。縮尺変更にご注意すること。